

ふくしま便り

No. 12

2017年8月31日発行

8月号

日本生協連
組合員活動部

沖縄、九州など全国で富岡町の桜の苗が植樹されていますが、日本生協連でも検討されているとのお話を耳にしました。コーププラザのある渋谷駅付近は、再開発の真っ最中です。そういえば、あの辺りで桜を見かけることはなかったような…？コープでお花見、実現するといいですね。



浪江町仮設住宅をユーコープが訪問、交流 ～ 8/7 北幹線仮設住宅 ～

8/7 浪江町北幹線仮設住宅サロンをユーコープの組合員さんと職員の方4名が訪問しました。参加された9名の住民の方とお茶、お菓子をいただきながら交流を行いました。

また、今回は、きれいな柄で色とりどりの“うちわ”をみんなで作成しました。花火、金魚すくい、かき氷など夏らしい模様に、「涼しく過ごせそう！」の感想がありました。完成後、昭和ソングをみんなで斉唱しました。



2017ピースアクション・ヒロシマで福島の実状をお知らせ ～8/5 広島市～



8/5 午後、広島県立総合体育館グリーンアリーナでピースアクション・ヒロシマ「虹のひろば」が開催されました。

全国から延べ2,550人が参加する中、第2部「みんなのひろば」で日野理事、生活文化部・松崎課長が東日本大震災支援ブースで福島の復興について展示し、支援の民芸調文具などを販売しました。

ピースアクションに参加した高校生をはじめ、多くの人に訪れていただき、福島の現状を知っていただきました。



九州北部豪雨災害 被災者へのお見舞いをつくっています ～ 郡山地区 ～

被災された皆さんの心が少しでも和むよう、郡山地区の事務所でお見舞い品のティシュカバーを作っています。9月にお届けする予定です。心よりお見舞い申し上げます。





福島現状を知る 視察と学習会

- 7/4-5 ユーコープ神奈川県本部が沿岸部被災地を訪問しました。
 穴戸常務、斉藤理事、根本本部長が同行しました。
- 7/10 ユーコープ神奈川、静岡、山梨の各県本部がコープふくしまの「組織合同シンポジウム」に参加されました。前日に被災地を訪問しました。穴戸常務、市橋理事が同行しました。
- 7/31-8/1 ユーコープ静岡県本部が被災地視察と今後の支援について交流を行いました。
 穴戸常務、斉藤理事、宮澤理事が対応しました。
- 8/19-20 コープいしかわが被災地を訪れ、交流しました。
 穴戸常務、新田理事が対応しました。
- 8/22-24 コープおおいたが新地町役場、被災地視察、仮設住宅を訪問しました。
 穴戸常務、菅野理事、斉藤理事が対応しました。
- 8/23-24 コープあいちが支援企画の打ち合わせのため訪れ、被災地を視察しました。
 野中専務、根本本部長が対応しました。
- 8/25-26 富山県生協・CO・OP とやまが合同で被災地視察に訪れました。
 穴戸常務、日野理事が対応しました。



知っていますか？ ～ 東電福島第一原発の廃炉作業 ① ～

福島県の被災地沿岸部、国道6号線を通ると目にするのが、空間線量計による測定値の電光掲示です。一番高い値を示すところが、東京電力福島第一原発（以下：イチエフ）の入口付近。3.0 μ Sv/h前後の値となっています。イチエフ内部の1～4号機付近の空間線量は、さらに桁違いの値になっていますが、約7千人とも言われる作業員の方が廃炉作業に今も取り組んでいます。では、廃炉作業とは具体的にはどのような事を行っているのでしょうか。直近でも「4号機のサブドレンの水位が一時低下し、汚染水漏れの恐れがあった」と報道されましたが、この記事、意味不明？というのが実感ではないでしょうか。（次号以降へ続く）



請戸漁港付近から見る第一原発

サロンに おじゃま しました！

双葉町北幹線仮設住宅サロン
参加された2名の住民の方から、お盆の時の料理やかつて双葉町にあったおいしいお店の事、他地域に避難していた人が近隣住民とトラブルがあった事などお話を伺いました。福島県は、避難指示のある8市町の仮設と借り上げ住宅の無償提供を2019年3月末まで延長することを8/28に発表しました。原発のある双葉町は「帰還困難区域」が大部分ですが、その後の住宅提供は今後判断するそうです。先行きの不透明さは解消されません。-住吉-



発行

日本生協連 組織推進本部 組合員活動部
電話 03-5778-8124 Fax 03-5778-8125

担当

住吉 小池